

大会決議

道路は、切迫する巨大地震や、激甚化・頻発化する豪雨災害など、脅威が高まる大規模自然災害への迅速な対応や、経済・産業の発展に欠くことのできない「非常に重要な社会基盤」である。

現在、本県では「徳島南部自動車道」や「阿南安芸自動車道」の整備、「徳島自動車道」の4車線化等が進められているものの、未事業化区間や暫定2車線区間が未だ多く残されている。

令和8年熊本地震では、高規格道路等のリダンダンシーの重要性が再認識された一方、未整備区間を抱える四国東南部においては、道路の寸断による「長期孤立」や「復旧遅延」が強く懸念されており、災害に強い道路網の構築は一刻の猶予も許されない。

さらに、地域未来戦略の先行事例に選定された「地域産業クラスター計画」の推進をはじめ「強い経済」を実現するためにも、高規格道路の早期開通や4車線化に加え、都市部の渋滞解消や老朽化対策、交通安全の確保など共通の道路課題への対応が不可欠である。

こうした状況を乗り越え、一日も早く全国の地域間格差を解消し、将来に希望が持てるよう「地方創生」を成し遂げることが我々の使命であり、その確固たる手段となる道路整備を強力に進めていくため、次の事項について特段の配慮を強く要望する。

- ― 物価等の高騰の影響を適切に反映し、頻発する災害も踏まえ、道路整備に必要な予算・財源を確実に確保
- ― 「第1次国土強靱化実施中期計画」について、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保
- ― 徳島南部自動車道の早期全線供用
- ― 阿南安芸自動車道について、
 - ・「美波・牟岐間」の計画段階評価の早期完了
 - ・「桑野道路」「福井道路」「牟岐海部道路」「海部野根道路」の整備推進
- ― 徳島自動車道について、
 - ・「藍住・川之江東JCT間」全線4車線化の早期完成
 - ・4車線化完成までの緊急安全対策の実施
 - ・「阿波市場スマートIC」の令和8年内供用
- ― 徳島南環状道路（国府・上八万間）の整備加速、開通見通しの早期公表
- ― 地域経済の活性化に資するIC関連整備、強靱化、老朽化対策、交通安全対策など、県や市町村が実施する道路整備に必要な予算を確保
- ― 四国地方整備局において、必要な人員の確保、県南部への事務所の新設や出張所の格上げ等による組織体制の強化

令和8年8月26日

徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会